

#### ◆公共施設整備について

質問	老人憩の家たかむら荘(ゆ〜ゆ〜こまち)が高台にあり不便。今後公共施設の設置を検討する場合は、高齢者でも行きやすい場所にしてほしい。 インターチェンジ付近の利便性は高いと思うので、公共施設を設置する際は、優先的に候補地として考えてはどうか。
町長	公共施設の設置場所に十分配慮してまいります。インターチェンジ周辺は町の強みが発揮できる適地と考えていますので、整備を進めたいと考えています。
質問	学校跡地を今後どうするのか。
町長	事業者などから利用したいとして、相談が数件ある状況です。有効利用の観点からは再利用が望ましいと考えており、利用希望者と協議などを行っています。様子をみながら利用見込みがないと判断した場合は、解体し更地にする考えです。
質問	パークゴルフ場の整備を考えてはどうか。
町長	町民の皆さんの健康づくりや生きがいづくりのため必要と感じています。さまざまな方々の意見を伺いながら整備を推進します。
質問	旧公立小野町地方総合病院の跡地をどうするか。
町長	この敷地は、河川改修事業で少し形が変わる予定です。河川改修事業が進みますと、堤防や道路の位置が決まっていきますので、その段階で活用方法を考えたいと思います。



#### ◆人口減少問題について

質問	少子化問題は日本全体の問題。この問題をもっと考えていただくため、町民の皆さんの意識啓発などを強化してはどうか。 結婚対策として仲人、世話焼き人を養成することも大切だが、若者の集まる場を提供することも重要と思うが。
町長	結婚対策は喫緊の課題と認識しています。異業種交流会に対策の実施をお願いしており、近年活発に取り組んでいただいています。また昔ながらの「世話焼き人」が少なくなってきたと感じ、今年度から結婚の世話焼き人養成事業も開始します。若者の集まる場の提供も重視しており、これらの方々の活動の活発化を図っていきます。
質問	人口定着のため、子どもたちに小野町をもっと好きになってもらう必要がある。給食に町内産食材を活用し、食育を進めてはどうか。
町長	学校給食の米は全部町内産を使用しています。おかずなどは適時に必要量を調達することが難しい現状です。しかし子どもたちの健康と産業活性化のため、給食に地元食材を少しでも多く取り入れられるよう、仕組みづくりを考えていきます。
質問	移住受け入れも大切だが、現在住んでいる町民を町外に出さない対策も必要と考えるが。
町長	現在住んでいる人が満足しなければ、移住されてくる方も満足できないと考えます。現在住んでいる方を大切にする施策に取り組んでまいります。
質問	若い世代の移住や定着のため、教育環境を整えることが大切と考えるがどうか。
町長	幼児教育分野では、認定こども園の整備を進めています。小学校についても老朽化が進んでおりますので対策を講じてまいります。